

令和4年(2022年)2月

各 位

札幌市長 秋元 克広

「札幌市企業経営動向調査」へのご協力について(お願い)

日頃より、本市行政について、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、本市では、市内の景気動向などの現状を的確に把握し、今後の施策の展開を図るため、標記調査(年2回)を昭和62年2月から実施しております。

つきましては、何かとご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、調査にご協力いただきたく、同封調査票を**令和4年2月21日(月)までにご回答**くださいますようお願い申しあげます。

ご回答いただきました内容につきましては、統計的に一括処理し、貴社名及びその内容をそのまま公表することは一切無く、貴社の秘密は厳守いたします。

なお、本紙の裏面には、前回調査(令和3年度上期)のダイジェスト版を掲載しております。

※ 調査の結果につきましては、札幌市公式ホームページにおいて公開しています。

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/joho/dokochosa.html>

【問い合わせ先】

札幌市経済観光局産業振興部経済企画課企画係 担当：中川、渡邊

■電話：011-211-2352 ■FAX：011-218-5130

■電子メール：keizaikikaku-kikaku@city.sapporo.jp

同封チラシについて

～さぼーとほっと基金のご案内～

この基金は、市民や企業の皆さまからの寄付により、市内のまちづくり活動を行う団体に対して事業費を助成する制度であります。

基金の特長といたしまして、当基金への寄付については、寄付金控除の対象となるため、寄付者が法人の場合、法人税法上、全額損金算入扱いとなります。また、一定額の寄付を納めた場合、企業様のお名前を冠した基金の設立や、札幌市長名で感謝状を贈呈させていただくこと等がございます。つきましては、社会貢献活動の一環として、当基金の活用をご検討いただければ幸いです。

※さぼーとほっと基金のホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/index.html>

【同封チラシ：さぼーとほっと基金の問い合わせ先】

札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課

■電話：011-211-2964 ■FAX：011-218-5156

■電子メール：shimin-support@city.sapporo.jp

新型コロナウイルスの感染拡大等の状況下、景況感は2期連続で上昇

—令和3年度上期企業経営動向調査—

札幌市は令和3年8月、市内に事業所を有する企業、団体、個人事業者計2,000社を対象に市内の景況判断などを調査する「札幌市企業経営動向調査（令和3年度上期）」を実施し、1,208社から有効回答がありました。

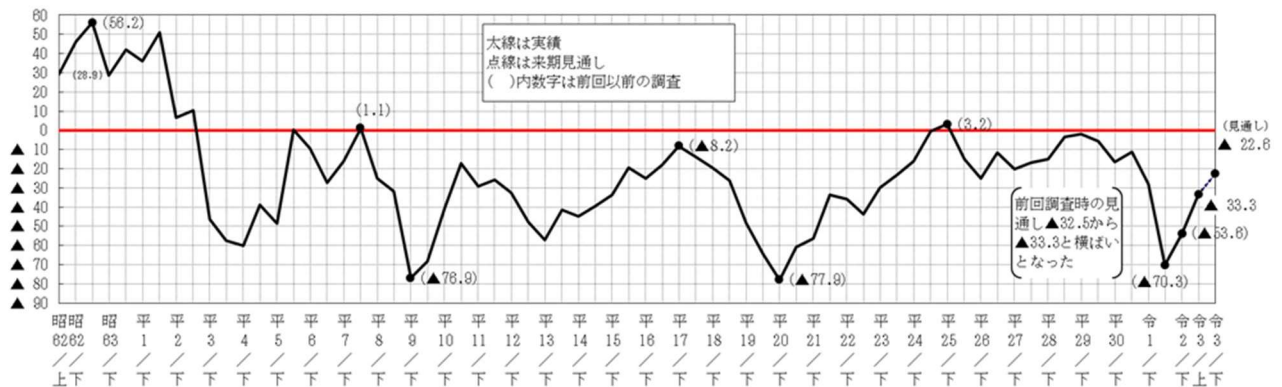
市内景況判断（B.S.I.）は、2期連続で上昇となりました。また、自社の業績について、売上高判断と経常利益判断はともに上昇、従業員数判断も上昇となりました。来期については、売上高判断と経常利益判断はともに下降の見通しとなり、従業員数判断は横ばいの見通しとなっています。

◇ 市内の景況

令和3年度上期の市内の景況について、令和2年度下期と比べ「上昇」とみる企業の割合（10.2%）から「下降」とみる企業の割合（43.5%）を減じた市内景況判断B.S.I.は▲33.3で前回調査時（▲53.6）から20.3ポイント上昇となり、前期に続き、2期連続で上昇となりました。なお、令和3年度下期の景況の見通しについては、B.S.I.は▲22.6と今期からさらに上昇しています。

市内の景況（B.S.I.の動き）

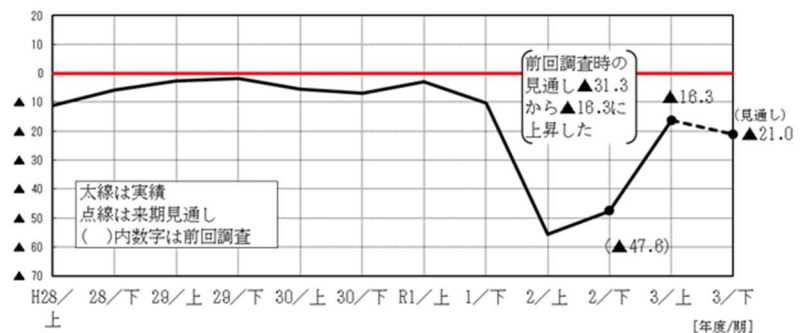
※ B.S.I.（景況判断指数）＝「前期と比べて上昇（増加）」と回答した割合－「前期と比べて下降（減少）」と回答した割合マイナス値が大きいほど景況感が悪いと判断される。



◇ 自社の業績（売上高・経常利益）

自社の業績に関して、令和3年度上期の売上高判断B.S.I.は▲16.3で前回調査時（▲47.6）から上昇、また経常利益判断B.S.I.も▲19.1で前回（▲44.7）から上昇となりました。令和3年度下期（見通し）については、売上高判断B.S.I.▲21.0は下降、経常利益判断B.S.I.▲25.6も下降の見通しとなっています。

売上高（B.S.I.の動き）



◇ 設備投資の実施割合

過去1年間に設備投資を実施した企業の割合は40.4%（前回38.2%）で上昇となっています。今後1年間に設備投資を実施する予定の企業の割合は33.5%と下降の見通しとなっています。

◇ 従業員数

令和3年9月末現在の従業員数（常用雇用者）について、従業員数判断B.S.I.は▲2.5で前回調査時（▲6.6）から上昇となりました。令和4年3月末の従業員数判断B.S.I.（見通し）は▲1.5と横ばいの見通しとなっています。

従業員数（B.S.I.の動き）

